

平成22年度主要事業の実施結果について

1	妊産婦・新生児訪問指導	1
2	こんにちは赤ちゃん事業	1
3	プレおや教室	1
4	4か月児健康診査	3
5	10か月児健康診査	3
6	1歳6か月児健康診査	4
7	3歳児健康診査	4
8	歯科健康診査	5
9	アレルギー関連事業（健康診査・健康相談・教育・機能訓練）	6
10	妊婦健康診査費助成事業	8
11	成人・各種がん検診事業	8
12	げんき度健診	11
13	骨粗しょう症検診	12
14	兵庫県・芦屋市健康大学講座	12
15	特定健康診査後の階層化に基づく特定保健指導	13
16	新型インフルエンザワクチン予防接種事業	14
17	新型インフルエンザ(3価)ワクチン予防接種事業	14
18	高齢者インフルエンザ予防接種事業（再掲）	15

1 妊産婦・新生児訪問指導

出生連絡票を返送された方を対象に助産師等が家庭訪問を行う。

新生児の体重測定・母乳相談・育児相談等を行い、母親にとって特に不安な新生児期への子育て支援を実施している。

対 象：市内在住の産婦・新生児で出生連絡票の返送者及びハイリスク妊婦

実施時期：通年

周知方法：広報あしや、母子健康手帳交付時

根 拠：母子保健法 第10条、第11条

事業開始：平成9年度

実施状況

<単位：人>

区分 年度	妊 産 婦		新 生 児	
	訪 問 実人数	訪 問 延人数	訪 問 実人数	訪 問 延人数
22年度	744	748	45	45
21年度	644	645	65	65
20年度	375	378	101	103

* 22年度は2月末まで

2 こんにちは赤ちゃん事業

4か月までの乳児のいる全ての家庭に対し、保健師、助産師、看護師等による家庭訪問を実施し、子育てに関する不安や悩みの聴取及び相談、子育てに関する情報提供及び乳児の身体計測等して、支援の必要な家庭に対しては、適切なサービスに結びつけることにより、子どもの健やかな育成を図ることを目的に実施している。

対 象：生後4か月までの乳児のいる家庭

根 拠：次世代育成支援対策推進法（児童虐待防止対策として平成19年4月1日創設）

事業開始：平成20年6月

実施状況

<単位：戸>

年 度	出生数	新生児訪問数	赤ちゃん訪問数他	合計数	実施率 (%)
22年度	833	45	699	744	89.3%
21年度	825	62	589	651	78.9%
20年度	789	85	301	386	48.9%

* 22年度は2月末まで

3 プレおや教室

母子健康手帳の交付時にプレおや教室の案内をしている。特に、初産婦に対してかかりつけの産婦人科で母親学級等を受ける機会のない方を対象に本教室の受講を勧奨している。食事バランスガイドを周知するため、栄養を中心に『マタニティ Good バランスクッキング』と妊娠・出産の知識を中心に『レッツエンジョイマタニティ』に分けて実施しました。

対 象：市内在住・在勤の妊婦及びその夫

実施日時：偶数月第1、3水曜日 奇数月第1、3水曜日

会 場： 1回目；保健センター、2回目；市民センター料理室
前期・後期とも保健センター

周知方法：広報あしや、母子健康手帳交付時

根 拠：母子保健法

事業開始：平成9年度

内 容：マタニティ Good バランスクッキング

1回目 妊娠中の口腔ケア（歯科衛生士）
妊娠中の食事（栄養士）、パソコンによる食事診断

2回目 妊娠中の栄養（栄養士）調理実習

レッツエンジョイマタニティ

前期：妊娠中を健康的に過ごそう、妊娠中の姿勢と運動、グループワーク

後期：お産に添った楽な姿勢、バースプラン作成、グループワーク

マタニティ Good バランスクッキング

実施状況

<単位：人>

年度	実施回数	参加延人員	参加実人員	参加人員	
				1日目（講話）	2日目（調理実習）
22年度	12	64	35	33	31
21年度	11	84	45	45	39
20年度	24	121	61	61	60

レッツエンジョイマタニティ

実施状況

<単位：人>

	回数	参加延人員	参加実人員	参加人員	
				前期	後期
22年度	10	87	85	39	46

沐浴教室・パパママ教室

対 象：市内在住、在勤の妊婦及びその夫

実施日時：① 奇数月第3土曜日（AM）

② 偶数月第3土曜日（AM）

会 場：芦屋市保健センター

内 容：① 沐浴教室：赤ちゃんのお風呂の入れ方・パパとしての気持ちの準備

② パパママ教室：母乳育児・安産のためのマッサージ・親子タッチケア

周知方法 広報あしや、母子健康手帳交付時

事業開始 平成3年度(母親教室より以降)

① 沐浴教室 参加者

<単位：人>

年 度	実施回数	参加延人員	実参加組数	内訳		
				夫婦参加	妻のみ参加	夫のみ参加
22年度	5	176	91	85	6	0
21年度	6	203	106	97	8	1
20年度	6	182	97	85	12	0

* 22年度は1月末まで

② パパママ教室 参加者

<単位：人>

年 度	実施回数	参加延人員	実参加組数	参 加 人 員				
				プレ親		パパママ		
				妊婦	夫	ママ	パパ	乳児
22年度	6	189	89	73	69	16	15	16
21年度	6	206	96	73	68	23	19	23
20年度	6	168	53	24	19	49	26	50

4 4か月児健康診査

乳児の発達の見守りである4か月時点において、疾病や発達障害等の早期発見と育児相談、離乳食指導を行っている。

4か月児健診時にアレルギー健診の一次問診を合わせて行い、問診事項と主訴から二次問診の対象者を把握している。平成17年度より4ヶ月児健診時に発達・発育に経過観察を必要とする児は、再来として4ヶ月児健診時に来所を促している。平成18年度より図書館作成の絵本選定BOOKを育児BOOKに加えて配布している。平成22年9月より、図書ボランティアの協力を得て、ブックスタート事業を開始しました。

対 象：市内在住の4か月児

実施時期：毎月第2、4火曜日

場 所：芦屋健康福祉事務所 H22.7以降保健センター

内 容：①問診 ②身体計測 ③小児科診察 ④集団指導（離乳食、予防接種、絵本の読み聞かせについて） ⑤育児指導

周知方法：個別通知、広報あしや

根 拠：母子保健法

事業開始：平成9年度

受診結果

<単位：人>

区分 年度	対象人員	実施回数	受診人員 (受診率)	内 訳				
				異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密
22年度	790	22	767 (97.1%)	585	109	46	11	16
21年度	890	24	848 (95.3%)	632	143	31	17	25
20年度	861	24	831 (96.5%)	608	140	49	11	23

* 22年度は2月末まで

5 10か月児健康診査

対 象：市内在住の10か月児

実施時期：通年

会 場：市内委託医療機関

内 容：①問診 ②身体計測 ③小児科診察 ④育児指導

周知方法：個別通知、広報あしや

根 拠：母子保健法

事業開始：平成5年度

受診結果

<単位：人>

区分 年度	対象 人員	受診人員 (受診率)	受診結果					相談 希望
			異常 なし	既 医療	要 観察	要 医療	要 精密	
22年度	720	655 (91.0%)	494	61	86	5	7	43
21年度	858	797 (92.9%)	619	69	95	5	9	45
20年度	929	846 (91.1%)	638	68	131	4	5	61

* 22年度は1月分まで

*健診時に保健師等の相談を希望する母親については、受託医療機関からの連絡を受けて育児相談を実施する体制をとっています。

6 1歳6か月児健康診査

対 象：市内在住の1歳6か月児

実施時期：毎月第2，4木曜日

場 所：保健センター

内 容：①身体計測 ②問診 ③歯科診察 ④小児科診察 ⑤育児相談
⑥集団指導（栄養・歯科） ⑦専門相談（心理）

周知方法：個別通知，広報あしや

根 拠：母子保健法

事業開始：昭和54年度

受診結果

<単位：人>

年 度	対 象 人 員	実 施 回 数	受 診 人 数 (受 診 率)	一 般 健 康 診 査									
				異 常 な し	異 常 あ り	内 訳							
						要観察		要医療		既医療		要精密	
						身 体	精 神	身 体	精 神	身 体	精 神	身 体	精 神
22	803	21	743(92.2)	487	256	23	116	2	0	127	0	16	0
21	920	22	810(88.0)	576	234	16	124	9	0	96	1	9	0
20	884	24	835(94.5)	569	266	28	121	15	0	120	0	7	0

* 22年度は2月末まで

7 3歳児健康診査

幼児の発達の節目である3歳4か月児を対象に、疾病や発達障害等の早期発見と育児相談を行っている。身体的な異常を発見するため小児科・歯科・耳鼻科・眼科の診察を行う。

乳幼児期最後の健診であることから育児相談，栄養相談・栄養指導，歯科衛生指導等，充実した内容の健康診査を行っている。

また，環境省の環境影響調査も合わせて行い，こどもを取りまく生活環境調査も実施している。平成14年度からは，待合時間を利用して保育士による遊びの場も設けている。

平成18年度より図書館作成の絵本選定BOOKを育児BOOKに加えて配布している。

平成22年9月より，オートフレクトメータにて測定開始する。

対 象：市内在住の3歳4か月児

実施時期：毎月第1・3木曜日

場 所：芦屋健康福祉事務所

内 容：①尿検査 ②問診 ③身体計測 ④小児科診察 ⑤歯科診察 ⑥育児相談

⑦集団指導（栄養・歯科） ⑧耳鼻科健診（隔月） ⑨眼科健診（委託）

周知方法：個別通知，広報あしや

根 拠：母子保健法

事業開始：平成9年度

(1)一般健康診査受診結果

<単位：人>

年度	対象人員	実施回数	受診人数 (受診率)	一 般 健 康 診 査									
				異常なし	異常あり	内 訳							
						要観察		要医療		既医療		要精密	
						身体	精神	身体	精神	身体	精神	身体	精神
22	991	21	914(92.2)	655	259	3	77	1	0	171	9	13	0
21	1008	23	906(89.9)	662	244	5	63	8	0	158	9	22	0
20	877	24	808(92.1)	600	208	23	49	31	0	211	5	9	0

* 22年度は2月末まで

(2)視覚健診結果

<単位：人>

年度	対象人員	実施回数	受診対象人員	受診実人員	受 診 結 果									
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密	内 訳				
										受診勧奨	受診人員	異常なし	要観察	要医療
22	991	10	74	51	14	1	29	1	6	6	0	0	0	0
21	906	12	57	35	16	0	16	2	4	1	0	0	3	0
20	877	12	49	43	20	0	18	4	1	1	0	0	0	0

* 22年度は1月末まで

(3)聴覚健診結果

<単位：人>

年度	対象人員	実施回数	受診対象人員	受診人員	受 診 結 果									
					異常なし	既医療	要観察	要医療	要精密	内 訳				
										受診勧奨	受診人員	異常なし	要観察	要医療
22	991	5	40	30	15	0	5	8	2	2	0	0	0	0
21	906	6	25	25	18	2	0	5	0	0	0	0	0	0
20	877	6	60	45	20	6	2	17	0	0	0	0	0	0

* 22年度は2月末まで

8 歯科健康診査

(1)1歳6か月児

<単位：人>

年度	受診人員	受診結果					う歯総数	有1病人者当たり	受1診人者当たり	軟組織異常	不正咬合	その他
		O型	A型	B型	C型	合計						
22	743	733	9	1	0	743	25	2.5	0.03	27	15	0
21	810	805	5	0	0	810	32	6.4	0.04	30	12	0
20	835	827	8	0	0	835	21	2.6	0.03	24	15	1

* 22年度は2月末まで

(2)3歳児

<単位：人>

年度	歯 科 健 康 診 査															
	受診人員	受 診 結 果						う 歯 の 数		不 正 咬 合				軟組織異常	その他の疾患	
		A型	B型	C1型	C2型	不詳	合計	総数	有病者当り	受診者当り	反対咬合	開咬	その他			合計
22	913	68	14	2	1	2	87	234	2.75	0.26	30	26	2	58	25	16
21	903	84	27	0	1	0	112	472	4.21	0.52	42	29	8	79	14	14
20	808	77	18	1	1	0	97	361	3.72	0.45	35	21	4	60	15	16

* 22年度は2月末まで

9 アレルギー関連事業

(1)アレルギー健康診査

4か月児健診、1歳6か月児健診の受診者から、問診票と主訴により、アレルギー健診の対象者を把握する。

健診は、問診票とともにアレルギー専門医の診察を行い、必要に応じて個別の栄養指導・保健指導を実施する。また、経過観察が必要な場合にはアレルギー相談を勧奨する。

対 象：市内在住の0～6歳未満児とその保護者

会 場：保健センター

内 容：①4か月児・1歳6か月児健診の受診者に問診票を送付

②アレルギー健診対象者に二次問診票を送付

③身体計測 ④専門医の診察 ⑤栄養指導、保健指導

周知方法：対象者に対する個別通知

根 拠：公害健康被害の補償に関する法律及び健康被害予防事業実施要領

事業開始：平成9年度

受診結果

<単位：人>

年度	4か月児健診			1歳6か月児健診			対象者合計	対象人員	受診人員	受診結果		
	送付数	回収数	対象者数	送付数	回収数	対象者数				異常なし	要観察	要既医療
22	790	767	263	803	743	114	377	117	80	32	11	37
21	890	848	275	920	810	117	401	148	91	40	7	43
20	861	831	275	884	835	143	418	151	93	49	7	36

*22年度は2月末まで

(2)アレルギー相談

対 象：市内在住の0～6歳未満児とその保護者

会 場：保健センター

実施時期：毎月 第1月曜日

内 容：①身体計測

- ②アレルギー全般についての相談
- ③卵, 牛乳, 小麦を除去した献立と相談
- ④アレルギーを予防する離乳食の指導と相談
- ⑤アレルギーのあるこどもの育児相談

周知方法：広報あしや, アレルギー健診時に案内

根 拠：公害健康被害の補償に関する法律及び健康被害予防事業実施要領

事業開始：平成元年度

参加状況

<単位：人>

年 度	実施回数	受診実人数	延受診人数
22年度	12	26	65
21年度	12	16	54
20年度	12	25	59

(3)アレルギー教室

対 象：市内在住の0～6歳未満児とその保護者・全市民

会 場：保健センター

実施時期：年間 5回

内 容：①専門医による講演「アレルギーについての基礎知識と対応について」

②専門医による講演「小児喘息の予防と治療」

③講演「ぜん息を予防する日常生活の環境整備について」

(ダニ採取結果から)

④専門医による講演「花粉注意報—今年の傾向と対策—」

⑤専門医による講演「慢性呼吸器疾患の最新情報について」

理学療法士による実習

周知方法：広報あしや, アレルギー健診時に案内, 新聞折込, 個別通知

根 拠：公害健康被害の補償に関する法律及び健康被害予防事業実施要領

事業開始：平成元年度

参加状況

<単位：人>

年 度	実施回数	参加者数	内 訳	
			親	子
22年度	5	112	78	34
21年度	6	119	81	38
20年度	6	136	84	52

(4)機能訓練事業—めだか水泳教室

対 象：4歳～5歳児のこどもとその保護者

実施期間：①平成22年9月～11月(計12回) ②平成22年12月～3月(計12回)

会 場：保健福祉センター水浴訓練室(指導：シンコースポーツ)

周知方法：広報あしや, 個別通知

根 拠：公害健康被害の補償に関する法律及び健康被害予防事業実施要領

事業開始：平成11年度

参加状況

<単位：人>

年 度	応募人数	決定者数	参加実人数	参加延人数	参加率
22年度①	同時募集	16	15	125	69.4%
	②	16	15	121	67.2%
21年度①	21	15	15	135	90.0%
	②	31	25	152	72.4%

10 妊婦健康診査費助成事業

対 象：市内に居住する妊婦(所得制限なし)

助 成 費：妊娠全期の健診五回以上で1回5,000円を上限に14回助成

健診機関：兵庫県内・県外の産科医療機関

事業開始：平成18年7月

助成実績

<単位：人>

年 度	申請件数	支給件数	受診券利用件数	償還払い件数
22年度	732	722	—	722 (36,790)
21年度	660	656	—	656 (33,759)
20年度	573	599	—	599 (13,984)

* 22年度は2月末まで (千円) 内は助成金額

11 成人・老人保健事業

(1) 特定健康診査

内 容：問診，聴打診，身体計測，検尿，血圧，血液検査，

詳細項目：心電図，眼底検査，貧血

対 象：40歳～75歳の市民(国保加入者)

実施時期：平成22年5月1日(土)～12月18日(土)

実施場所：保健センター等，市内60委託医療機関(眼科を含む。)

周知方法：広報あしや，受診券にて個別通知

根 拠：高齢者の医療の確保に関する法律 (健診は医療保険者に義務付けられた)

事業開始：平成20年度

費 用：無料

実施状況

年 度	受診券発行枚数		受診者数		芦屋病院人 間ドック受 診者数	健康チェッ ク受診者数	受 診 率 (%)
	40～64 歳	65～75 歳	40～64 歳	65～75 歳			
22年度	8,697	8,409	1,955	3,378	481	135	34.8%
21年度	8,430	8,431	1,791	3,501	370	147	31.4%
20年度	8,221	7,839	1,500	2,754	424	169	30.2%

(2) 長寿医療健康診査

内 容：特定健康診査に準ずる

対 象：75歳以上の後期高齢者医療制度加入者

実施時期：平成22年5月1日(土)～12月18日(土)

実施場所：市内60委託医療機関（眼科を含む。）

周知方法：広報あしや、受診券にて個別通知

根 拠：高齢者の医療の確保に関する法律

事業開始：平成20年度

費 用：基本健診 無料

受診結果状況

年 度	75歳以上 受診券発行数	受診者数	受診率%
22年度	10,097枚	2,917人	28.9%
21年度	9,960枚	2,669人	26.8%
20年度	10,279枚	3,123人	30.4%

(3)介護予防健診

内 容：生活機能問診25項目

機能低下が認められる方 詳細項目：反復唾液嚥下テスト、心電図
血液検査（貧血・アルブミン）

対 象：65歳以上で要支援・要介護認定を受けている方を除く

実施時期：平成22年5月1日（土）～12月18日（土）

実施場所：市内50委託医療機関

周知方法：広報あしや、受診券にて個別通知

根 拠：介護保険法

事業開始：平成18年度

受診結果状況

<単位：人>

年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	内 訳		生活機能検査の内訳			
				生活機能 チェック	生活機能 検査	生活機能 の低下な し	治療優先	介護予防 利用が望 ましい	医学的理 由により 一部利用 が不適當
22年度	21,594	5,762	26.68	3,851	1,065	688	38	318	21
21年度	21,372	5,662	26.50	4,465	1,197	785	66	309	37
20年度	20,643	5,980	28.97	4,699	1,281	745	81	441	14

(4)がん検診

内 容：結核・肺がん（必要な方喀痰）、大腸がん、前立腺がん

対 象：40歳以上の市民及び健康チェック受診者

実施時期：個別：平成22年5月1日（土）～12月18日（土） 集団：年間30回

実施場所：市内50委託医療機関、保健センター

周知方法：広報あしや、受診券にて個別通知

根 拠：健康増進法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

事業開始：平成20年度

費 用：結核・肺がん（喀痰検査900円）、大腸がん800円

前立腺がん1000円

胃がん検診2500円 70歳以上免除（前立腺がん検診を除く）

受診結果状況

<単位：人>

年度	肺がん検診			大腸がん検診			前立腺がん検診			胃がん検診		
	受診者数	結果内訳		受診者数	結果内訳		受診者数	結果内訳		受診者数	結果内訳	
		異常なし	要精密		異常なし	要精密		異常なし	要精密		異常なし	要精密
22年度	8,597	8,408	189	6,429	5,868	561	2,012	1,787	225	824	792	32
21年度	8,973	8,695	278	6,278	5,696	582	1,953	1,785	168	641	598	43
20年度	8,824	8,596	228	6,303	5,707	596	1,939	1,741	198	508	460	48

*22年度は2月末まで

(5)乳がん検診(マンモグラフィ併用)

対 象：40歳以上の市内在住の女性，H21より女性特有のがん検診（40,45,50,55,60歳）

実施期間：通年(2年に1回)

実施場所：市内委託医療機関(市立芦屋病院)，集団検診

事業開始：平成17年度

費 用：女性特有のがん検診対象者は無料，その他は2000円

受診状況

<単位：人>

年度	対象者数	受診者数	受診率%	要精密者数
22年度	18,206	1,385	7.61	195
21年度	19,452	1,706	8.77	181
20年度	18,952	669	3.53	113

* 22年度は1月末まで

(6)乳がん検診(視触診)

対 象：30歳～40歳未満の市内在住の女性

実施期間：通年

実施場所：市内委託医療機関

事業開始：昭和50年度（平成20年度より対象者改正）

費 用：400円

受診状況

<単位：人>

年度	受診者	要精密検査者	結果別内訳人員				
			異常なし	がん	がん疑い	がん以外	未把握
22年度	142	5	0	1	0	3	1
21年度	262	27	5	0	0	13	9
20年度	201	45	5	5	0	16	18

* 22年度は1月末まで

(7)子宮がん(頸部)検診

対 象：20歳以上の市内在住の女性，H21より女性特有のがん検診（20,25,30,35,40歳）

実施期間：通年

実施場所：市内委託医療機関

事業開始：平成18年度

費 用：1000円

受診状況

<単位：人>

年 度	対象者数	受診者数	受診率%	要精密者数
22年度	24,355	2,686	11.03	37
21年度	25,564	3,216	12.58	67
20年度	25,197	2,249	8.93	31

* 22年度は1月末まで

(8)アスベスト検診

対 象：市内在住者（問診時にアスベストばくろ歴がある旨を申告した者には健診カードを配布する。）

内 容：問診 胸部X線

会 場：保健センター等

実施時期：毎月第2・4水曜日 午後1時～1時30分

受診状況

区 分	受診者数	要精密検査者	判定内訳		未把握
			異常なし	経過観察	
22年度	36	1	1	0	0
21年度	43	1	0	1	0
20年度	59	0	0	0	0

(9)歯周病疾患予防

実施時期：毎月第1・3水曜日 午後1時～3時

会 場：芦屋市歯科医師会館 芦屋市歯科センター

実施状況

<単位：人>

年 度	区 分	健康教育	健康相談	歯科健診
22年度	総 数	239	239	239
	一 般40歳以上	65	65	65
	親 子40歳未満	174	174	174
21年度	総 数	166	166	165
	一 般40歳以上	35	35	34
	親 子40歳未満	131	131	131
20年度	総 数	209	209	209
	一 般40歳以上	51	51	51
	親 子40歳未満	158	158	158

* 22年度は2月末まで

12 げんき度健診

目 的：体力測定を行うことにより、少しでも自分自身の体力に興味を持ち再確認することで運動への関心を高め、生活の中で運動を習慣化できるようになることを目的とする。

60歳を迎えた方に対して個別に案内し、参加することにより運動習慣への関心を高めるとともに、取り入れることにより介護予防にもつながる。

対 象：20歳以上の市民

場 所：芦屋市保健福祉センター 1階 運動室

実 施 日：奇数月第4金曜日9：30～11：45 *11月14日(日)に休日版を開催

事業開始：平成18年度

実施状況

<単位：人>

年 度	参加者内訳		合計
	男	女	
22年度	21	59	80
21年度	38	95	133
20年度	54	103	157

* 22年度は2月末まで

13 骨粗しょう症検診

対 象：市内在住，在勤の20歳以上の男女

実施期間：通年（毎月第3火及び木曜日）

会 場：芦屋市保健センター

内 容：問診・身体測定・検査（超音波骨評価法）

周知方法：広報あしや，予約者に個別通知

根 拠：健康増進法

事業開始：平成10年度

費 用：1000円

受診結果

<単位：人>

区 分	受診者数 ()内は男	結果別人員			精密検査結果			
		異常 なし	経過 観察	要精検	正常	要医療	未把握	個別 指導
20～29歳	2	2	0	0	0	0	0	0
30～39歳	12	7	4	1	0	0	1	1
40～49歳	19	13	6	0	0	0	0	0
50～59歳	38(1)	18(1)	20	0	0	0	0	0
60～69歳	150(10)	35(4)	114(5)	1(1)	0	0	1(1)	0
70歳以上	109(7)	17(1)	91(6)	1	0	0	1	1
22年度 計	330 (18)	92 (6)	235 (11)	3(1)	0	0	3(1)	2
21年度 計	295 (15)	83 (8)	195 (6)	2	0	0	2	0
20年度 計	276 (8)	55 (1)	219 (7)	2	0	0	1	1

* 22年度は2月末まで

14 兵庫県・芦屋市健康大学講座

対 象：市内在住・在勤者

実施期間：平成22年9月2日から11月4日までの期間 10回 16講座

周知方法：広報あしや，ポスター

根 拠：健康増進法

事業開始：昭和52年度

一般公開：9月22日「寝たきりにならないためのリハビリテーション」 受講生23人

講 座 大阪医科大学総合医療講座 リハビリテーション医学教室 教授 佐浦 隆一氏

10月22日「家庭における救急処置について」 受講生16人

兵庫医科大学救急部 地域医療学 教授 吉永 和正氏

受講状況

<単位：人>

年 度	受講生数	卒業生	皆勤者
22年度	24	18	11
21年度	31	27	15
20年度	32	26	15

15 特定健康診査受診後の階層化に基づく特定保健指導

特定保健指導は、内臓脂肪に着目し、その要因となる生活習慣を改善するための保健指導を行うことにより、糖尿病等の生活習慣病を予防することを目的に実施する。

階層化の基準

- ① 高血圧、糖尿病、高脂血症の治療中でない
- ② 肥満 腹囲 男性85cm以上 女性90cm以上 (1) BMI 25以上 (2)
- ③ 階層化リスク
 空腹時血糖 100mg/dℓ以上 HbA1c 5.2%以上
 脂質 中性脂肪150mg/dℓ以上 HDLコレステロール40mg/dℓ未満
 血圧 収縮期 130mmHg以上 拡張期 85mmHg以上
- ④ 喫煙

保健指導区分

		リスク合計			
		3つ以上	2つ	1つ	該当なし
腹囲あり (1)	40～64 歳	積極的支援	積極的支援	動機付け支援	情報提供
	65～75 歳	動機付け支援	動機付け支援	動機付け支援	情報提供
腹囲は該当しない がBMI25以上 (2)	40～64 歳	積極的支援	動機付け支援	動機付け支援	情報提供
	65～75 歳	動機付け支援	動機付け支援	動機付け支援	情報提供
いずれにも該当しない		情報提供	情報提供	情報提供	情報提供

(1) すらっと健康支援教室(動機付け支援)

実施時期：毎月

会 場：保健センター

事業開始：平成20年9月

実施内容：利用券到着後→電話予約

- ① センターから案内文，エクセル栄養君調査票，生活問診票発送
- ② 主治医に確認のうえセンターから発送
- ③ 治療優先

教室当日：① 利用券，エクセル栄養君調査票，生活問診票持参

- ② 保健センターで体組成・血圧測定
- ③ 問診面接
- ④ 集団指導 (メタボについて，栄養について) 30分
- ⑤ 個別面接 内臓脂肪減少シートにて計画を立てる 30分
 目標宣言 (体重，腹囲等)，6ヶ月後のフォローの約束

動機付け支援参加者の状況

<単位：人>

年 度	対象者	参加者	実施率%
平成22年度	538	113	21.0%
平成21年度	492	165	33.5%

平成20年度	492	97	19.7%
--------	-----	----	-------

*平成22年2月末まで

(2)メタボすっきり運動教室(積極的支援)

実施内容 利用券到着後→電話予約

- ① センターから案内文, エクセル栄養君調査票, 生活問診票発送
- ② 主治医に確認のうえセンターから発送
- ③ 治療優先

教室当日 ① 利用券, エクセル栄養君調査票, 生活問診票持参

- ② 保健センターで体組成・血圧測定, 採血, 尿検査, 腹囲測定, 診察
- ③ 問診面接
- ④ 集団指導(メタボについて, 栄養について) 30分
- ⑤ 個別面接 内臓脂肪減少シートにて計画を立てる 30分
目標宣言(体重, 腹囲等)
- ⑥ 初回面接, 中間面接, 最終面接あるいは, 電話相談等
月2回の運動教室と同時実施 6ヶ月間

積極的支援参加者の状況

<単位:人>

年度	対象者	参加者	実施率%
平成22年度	155	20	12.9%
平成21年度	158	15	9.5%
平成20年度	121	24	19.8%

16 新型インフルエンザワクチン接種事業

対象: 市民(13歳未満は2回接種,

13歳以上は1回接種ただし基礎疾患の場合は2回)

期間: 市内委託医療機関で個別接種 平成22年4月1日~9月30日

費用: 1回目 3600円 2回目 2550円

接種の状況

<単位:人>

	医療従事者	基礎疾患を有する者	1歳~小学6年生	中学生~65歳未満	65歳以上	合計
1回目	1	1	3	17	3	25
2回目	0	1	3	1	0	5
合計	1	2	6	18	3	30

17 新型インフルエンザ(3価)ワクチン接種事業

対象: 市民(13歳未満は2回接種,

13歳以上は1回接種ただし基礎疾患の場合は2回)

期間: 市内委託医療機関で個別接種 平成22年10月1日~平成23年3月末

費用: 1回目 3600円 2回目 2550円

接種費用: 65歳以上, 市民税非課税世帯 1000円, 生活保護世帯 全額免除

事業開始：平成22年度

接種の状況

<単位：人>

	妊婦	15歳未満 ()	15歳～64歳 ()	65歳以上 ()	合計
1回目	211	4,901(29)	12,660(611)	9,837(2,023)	27,609
2回目	0	3,007(53)	184(86)	309(239)	3,500
合計	211	7,908	12,844	10,146	31,109

平成22年10月～12月分 () 基礎疾患を有する者

18 高齢者インフルエンザ予防接種（再掲）

対 象：65歳以上（60歳以上～65歳未満で身体障害者手帳内部障害1級所持者）

期 間：平成22年10月1日～平成23年3月31日

費 用：1回 1000円

事業開始：平成13年度

接種の状況

<単位：人>

年 度	10月	11月	12月	1月	接種者数	対象者	接種率
22年度	2,766(10)	5,745(10)	1,488(9)	438(1)	10,466	21,691	48.3%
21年度	3,969	3,173	985	1,077	9,204	21,405	43.0%
20年度	1,194	5,686	2,411	1,186	10,477	20,734	50.5%

* () 償還払いは、市外の医療機関での接種分 平成22年度より対応